

第一種奨学金（海外大学院学位取得型対象）
特に優れた業績による返還免除申請にあたっての留意点

申請書類の提出にあたっては、以下の点に留意のうえ間違いのないようお願いします。

1. 申請書類の入手

申請書類のうち、以下の書類については本機構のホームページからダウンロードして使用してください。

＜本機構のホームページ＞

http://www.jasso.go.jp/shogakukin/taiyochu/gyouseki_menjo.html

- (1) 第一種奨学金（海外大学院学位取得型対象）平成 29 年度業績優秀者返還免除申請書（様式 1-1 表 1）・（様式 1-1 裏）
- (2) 大学院における研究課題等・特に優れた業績の要旨（様式 1-1 表 2）
- (3) 指導教員等の推薦書（様式 1-2）
- (4) 第一種奨学金（海外大学院学位取得型対象）特に優れた業績による返還免除申請に係る提出資料一覧（別添）

2. 申請書類作成に係る共通の注意事項

- (1) 申請書類は、記入漏れ等があった場合は、選定の対象としないことがあるとともに、書類の追加提出または受理後の差し替え及び訂正は認めないので、十分にご留意ください。
- (2) 申請書類は、原則として、パソコン（又はワープロ）を使用し、A4判縦型、横書きで作成してください。但し、指導教員等の推薦書及び○を付ける箇所は黒ボールペンで記載してもかまいません。所定の様式の改変（項目の順番の入れ替え等）はできません。あらかじめ入力済の文言等は消去しないでください。
- (3) 申請書類は、漏れなく記載のうえ紙媒体で提出してください。記載した文章等が全て書類に打ち出されている（途中で文章等が欠けていないか）ことを確認してください。紙上で確実に読み取ることができない文章等は選定の対象になりません。

3. 申請書類の作成

- (1) 第一種奨学金（海外大学院学位取得型対象）平成 29 年度業績優秀者返還免除申請書（様式 1-1 表 1）・（様式 1-1 裏） 【印刷の際は、表裏両面印刷をしてください】
 - ① 全て日本語で作成してください。
 - ② 本人の印については、認印を押印してください。但し、お手元に認印がない場合に限りサインに代えてもかまいません。
 - ③ 様式 1-1 表 1「教育研究活動等の業績」で○を付けた項目は、様式 1-1 裏「特に優れた業績の要旨」にその内容を記載してください。
 - ④ 教育研究活動等の業績は、奨学金の貸与期間中かつ専攻分野に関連した成果に限られます。よって、貸与期間中以外の業績または専攻分野と関連のない業績は評価の対象となりません。
 - ⑤ 「様式 1-1 裏」に記載した【記入上の注意】を参照してください。
- (2) 「大学院における研究課題等」・「特に優れた業績の要旨」（様式 1-1 表 2）
【印刷の際は、表面を印刷してください】

- ①英語または指導教員等が常用する言語で作成してください。
- ②本書類は、指導教員等が推薦書を作成するに際して、専攻分野に関連した業績に関する本人の作成内容を把握するためのものです。よって、指導教員等が申請者の業績に関する作成内容を把握できるよう具体的かつ分かりやすく作成してください。
- ③作成にあたっては、下記（４）③の業績を挙げたことを証明する資料と対応する番号を付し、第三者にも分かるよう工夫してください。（単に「別紙参照」等の記載は認められません。）

(3) 「指導教員等の推薦書」(様式 1-2)

【印刷の際は、表面を印刷するよう依頼してください】

- ①指導教員等に本趣旨を説明のうえ、上記（２）の書類内容を踏まえ、漏れなく記載するよう依頼してください。但し、指導教員等が本様式に記載できない場合には、指導教員が日常使用しているレターフォーム等に、本様式に準じて記載するよう依頼してもかまいません。
- ②本様式は、日本語、英語または指導教員等が常用する言語で記載するよう依頼してください。
- ③Entered by recommender 欄も、漏れなく記載するよう依頼してください。
- ④推薦者の Signature は、押印でもかまいません。
- ⑤本様式は、指導教員が記載後、指導教員自身が封緘（封筒は様式自由）するよう依頼してください。

(4) 第一種奨学金（海外大学院学位取得型対象）平成 29 年度業績優秀者返還免除申請書（様式 1-1 表 1）・（様式 1-1 裏）の付属資料

①成績証明書

- ・優れた成績であることが分かる証明書を添付してください。
- ・成績証明書が発行できない場合には、必ず大学院で作成した成績を証明する書類を添付してください。
- ・成績証明書または大学院で作成した成績を証明する書類は、原本を提出してください。

②「第一種奨学金（海外大学院学位取得型対象）特に優れた業績による返還免除申請に係る提出資料一覧」（別添）

下記③の証明資料をとりまとめる資料として、別添「第一種奨学金（海外大学院学位取得型対象）特に優れた業績による返還免除申請に係る提出資料一覧」を作成してください。作成にあたっては、ダウンロードしたファイルに添付されている記入例を参考にしてください。

③貸与期間中に特に優れた業績を挙げたことを証明する資料

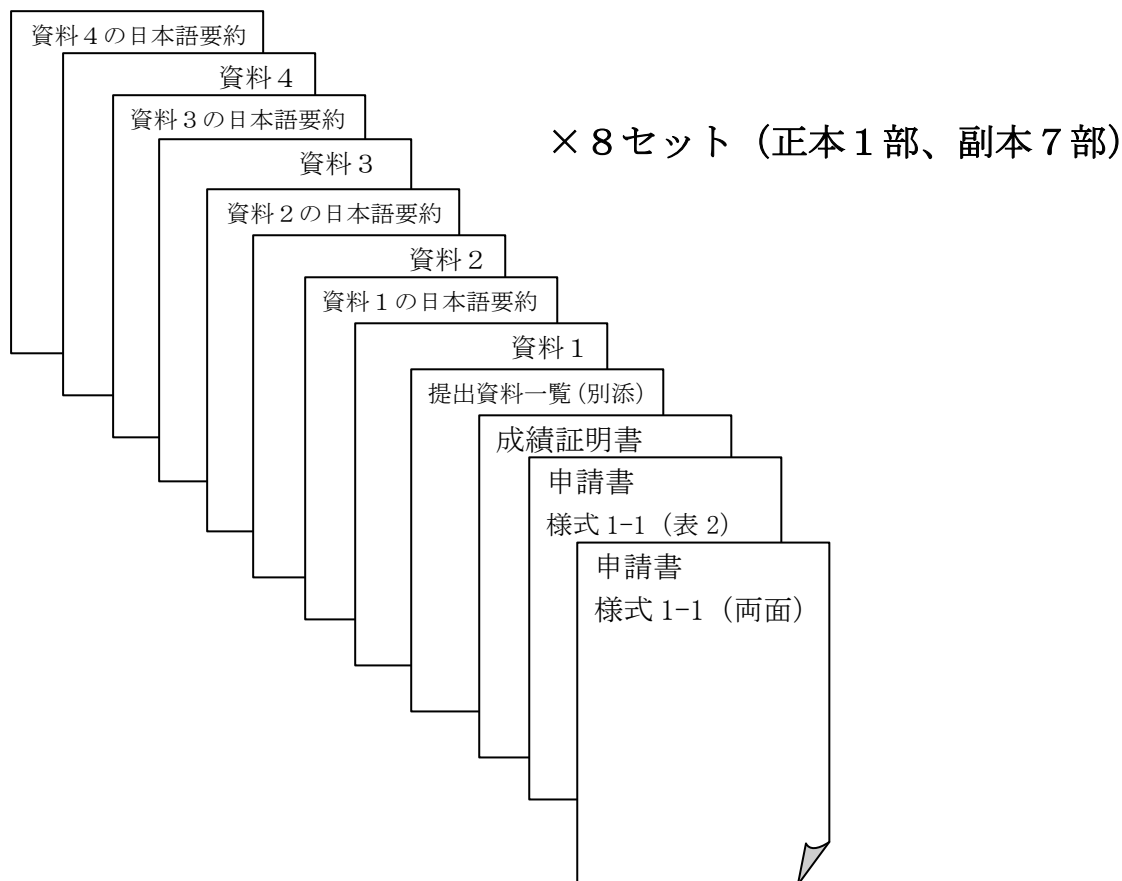
- ・資料は、上記 3（１）の第一種奨学金（海外大学院学位取得型対象）平成 29 年度業績優秀者返還免除申請書の表面「教育研究活動等の業績」で○を付けた全ての項目について、次表の評価される業績の例を参考に調べてください。表中の「業績を証明する資料（例）」として挙げた資料は一例です。業績を証明するために必要な資料（高い評価を得たことが証明できる資料等）は申請者自身で取り揃えて提出してください。
- ・各資料は、日本語で A 4 版 1 枚程度にまとめた要約を併せて提出してください。
- ・各資料は、できるだけ A 4 版縦型に統一してください。
- ・各資料の右上に資料番号を付けてください。但し、資料が複数枚となる場合には、資料頭書の右上のみに資料番号を付けることにかまいません。
- ・業績を証明する資料は写しでかまいません。但し、成績証明書が上記（４）①の成績証明書（原本）と異なる場合のみ原本を別に添付してください。

教育研究活動等の業績		評価される業績の例	業績を証明する資料（例）
様式 1-1 表 1 に ○ を した項目	左記の内訳		
1. 学位論文その他の研究論文	1-1. 学位論文	<ul style="list-style-type: none"> ・学位を取得した ・学位論文が高い評価を得た 	<ul style="list-style-type: none"> ・学位論文 ※表紙、目次、該当ページの全てを提出してください。 ※タイトル、氏名、指導教員提出日が確認できるものに限り ます。 ※ご自分の業績の該当部分 が分かるように、目次にマ ーカーを引いてください。
	1-2A. その他の研究論文 ※個人または貢献度の高い共著者としての業績	<ul style="list-style-type: none"> ・学会・シンポジウム等で講演・発表を行った ・研究論文が学会誌又は学術雑誌に掲載された ・研究論文が学会賞・学術賞などの賞を受賞した 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究論文 ※表紙、目次、該当ページの全てを提出してください。 ※タイトル、氏名、指導教員提出日が確認できるものに限り ます。 ※ご自分の業績の該当部分 が分かるように、目次にマ ーカーを引いてください。
	1-2B. その他の研究論文 ※上記（個人または貢献度の高い共著者として）以外の共同研究の一員としての業績		
2. 大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究の成果	※「大学院設置基準第16条に定める」は、「修士論文に代わる課程修了要件としての」と読み替えます。 ※本項目は博士課程は該当しません。	<ul style="list-style-type: none"> ・修士論文に代わる修士課程修了要件としての特定の課題についての研究成果が優れていた（コースワークのみで学位を取得できる場合は、この項目に含む） 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果物 ※表紙、目次、該当ページの全てを提出してください。 ※タイトル、氏名、成果発表日が確認できるものに限り ます。
3. 大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果	※「大学院設置基準第16条の2に定める」は、「修士論文及び上記2に代えて課程修了要件として大学院が行う」と読み替えます。 ※本項目は博士課程の後期は該当しません。	<ul style="list-style-type: none"> ・修士論文に代わる課程の修了要件となっている試験の結果が特に優れていた ・修士論文に代わる課程の修了要件となっている審査結果が特に優れていた 	<ul style="list-style-type: none"> ・成績証明書（原本）

<p>4. 著書、データベースその他の著作物（1及び2に掲げるものを除く）</p>	<p>4 A. 同左 <u>※個人または貢献度の高い共著者としての業績</u></p> <p>4 B. 同左 <u>※上記（個人または貢献度の高い共著者として）以外の共同研究の一員としての業績</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・専攻分野に関する書籍を出版した ・専攻分野に関連した教育・研究テキストを執筆した ・専門誌、図書、新聞、雑誌等に掲載された 	<ul style="list-style-type: none"> ・著書、データベースその他の著作物 ※表紙、目次、該当ページの全てを提出してください。 ※ご自分の業績の該当部分が分かるように、目次にマーカーを引いてください。
<p>5. 発明</p>	<p>同左</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特許・実用新案等が優れた発明・発見として高い評価を得た ・特許を取得した又は実用新案などの認定を受けた ・特許出願に至ったなど発明・発見による業績がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・出願資料および登録されたことが確認できる資料 ※登録日、登録ナンバー等が確認できるものに限りします。 ※登録された発明者が指導教員または大学等の場合、貴殿が発明に関わったことがわかる証明書が必要です。
<p>6. 授業科目の成績</p>	<p>同左</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業科目の成績が優秀であった ・優秀な成績を修め、学位授与式において代表学生として学位記を授与された ・修業年限の短縮を認められた ・専攻分野に関連した資格試験等に合格した 	<ul style="list-style-type: none"> ・成績証明書（原本）
<p>7. 研究又は教育に係る補助業務の実績</p>	<p>同左</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リサーチアシスタント等として採用され、共同研究やプロジェクト研究に参画して研究活動に貢献した ・ティーチングアシスタント等として採用され、教育活動の補助業務を積極的に行った 	<ul style="list-style-type: none"> ・リサーチアシスタント、ティーチングアシスタント等の採用通知など
<p>8. スポーツの競技会における成績</p>	<p>同左</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育研究活動の成果として、専攻分野でのスポーツの競技会で顕著な成績を修めた 	<ul style="list-style-type: none"> ・表彰状など
<p>9. ボランティア活動その他社会貢献活動の実績</p>	<p>同左</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育研究活動に関する NGO・NPO・ボランティア活動が顕著であった ・専攻分野の特殊性を生かした顕著な社会貢献や国際貢献があった 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事、表彰状など ※氏名、業績をあげた日が確認できるものに限りします。 ※主催者等本人以外の第三者が証明または評価していることが確認できること。

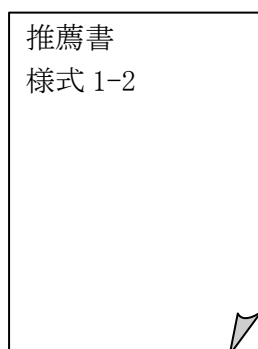
4. 第一種奨学金（海外大学院学位取得型対象）平成29年度業績優秀者返還免除申請書（様式1-1）のとりまとめ

- ①申請書（成績証明書、第一種奨学金（海外大学院学位取得型対象）特に優れた業績による返還免除申請に係る提出資料一覧及び貸与期間中に特に優れた業績を挙げたことを証明する資料含む）は、下図のとおり正本1部（原本）と副本7部（写し）に調べてください。
- ②貸与期間中に特に優れた業績を挙げたことを証明する資料のとりまとめにあたっては、第一種奨学金（海外大学院学位取得型対象）特に優れた業績による返還免除申請に係る提出資料一覧に記載した資料番号の順番に並べてください。



5. 指導教員等の推薦書（様式1-2）のとりまとめ

下図のとおり、上記4. ①の申請書とは別に、推薦書（正本）1部を指導教員が封筒に封緘した状態であることを確認してください。



正本1部（指導教員による封緘）

6. 申請書類の提出期限

平成 30 年 2 月 28 日（水）本機構必着（日本時間）

但し、平成 30 年 3 月分まで奨学金を受理後、辞退等により平成 29 年度中に貸与期間が終了する方のみ、申請書類の提出期限（本機構必着）は平成 30 年 3 月 23 日（金）とします。

7. 申請書類の提出・問い合わせ先

〒162 - 8412 東京都新宿区市谷本村町 10 - 7

独立行政法人日本学生支援機構貸与・給付部返還免除課

TEL： 03-6743-6044（日本時間：午前 8 時 30 分から午後 6 時）

FAX： 03-6743-6675

※簡易書留等の授受の記録が残る配達手段により、上記 4 及び 5 の書類を提出してください。